



校長室だより 足立区立第九中学校

第99号 平成30年9月3日発行 長塚琢磨



【素敵な9月のスタート！】

ついに9月が来ました。夏休み中に多くの部活動で2年生へのリーダーの引継ぎが行われ、新たなスタートをしています。3年生は、熱い思いと自らを磨いた心・技・体で総合体育大会を締めくくってくれました。その思いや行動は、後輩に伝わり、さらに向上してくれると確信しました。



記録的な猛暑と言われた夏休みが終わり、勉強・スポーツ・文化に努力の成果が期待できる秋がやってきました。「磨く」「挑む」「思いやる」を合言葉に、正しい生活リズムで、活力ある生徒を育成していきたいと考えていますのでご協力をお願いいたします。

【9月3日（月）集会での校長の話（要旨）：本気の素晴らしさと期待】

この夏休みまで多くの大会に応援に行き、皆さんの頑張りみせてもらいました。何人もの生徒が「私をより高いレベルの大会（ブロック、都、関東、全国）に行く」と言って本気で取り組んでいる姿が輝いており、私は世界一幸せな校長だと思いました。

3年生は修学旅行、そして進路選択に向けて全力で取り組むこと、1・2年生は実力アップと先輩の頑張りを引き継ぎ、責任をもって九中を発展させることを期待しています。

【9月に贈る詩】

今は紫陽花の時期ではありませんが、夏休みが終わり、前期を終了させ後期に向かう力を蓄えてほしいと考えこの詩を贈ります。素敵な涙と全力で共に頑張りましょう。

先生に

新川 和江

泣いても いいんですよ
きれいに洗われた
心の空に
虹をかけることのできる
涙であるのなら
そうおっしゃってくださいましたね
泣けるだけ お泣き
雨に打たれて 紫陽花が
悲しみのいろを
いっそう深く
美しくしていくように
とも おっしゃってくださいましたね

【日本の伝統・文化！ 地域の盆踊り！】

8月中に、7か所の盆踊りや夏祭りに参加させていただきました。地域の皆さんのエネルギーや温かさに触れ、私も教えてもらいながら踊りに参加しました。素敵な会場、盆踊りの曲や太鼓の音色、浴衣姿で踊る様子を見ていて、日本の伝統・文化の素敵さと大切さを感じました。



地域の盆踊り

2年後のオリンピック・パラリンピック 2020 東京大会を見据えて、海外からの訪問者が増えてきています。日本人として、我が国の素敵な伝統・文化を紹介できるようにしておきたいですね。

【素敵な学校づくり！ 生徒と共に！】

東京都では、全公立学校で体罰防止スローガンを考えポスターとして掲示することとなっています。

本校では、全教職員で検討し、よりよい学校にするために実践していくことの視点から、生徒一人一人の心を大切にしていける必要があると考えました。



第九中学校のスローガン

体罰やいじめの芽はどこの学校や社会にもあるといわれています。学校・家庭・地域が連携して、一人一人の心に向かい合い、素敵な学校、素敵な社会にしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

【頑張りが社会で評価！ 職業体験！】

8月5日、新聞「足立朝日」に、記者体験をした2年生4人の活躍が掲載されていました。地元の様々なよさを知ること、新たな発見や働くことの大変さと重要性を肌で感じ、次代の地域の形成者としての資質を磨いてくれたと考えています。

職業体験に当たり、体験できる場所を紹介してくださるなど、保護者や地域の皆様にご協力いただき心より感謝申し上げます。



職業体験の記事

今後とも、頑張っている生徒たちにエールを送るとともに、地域の素敵などところに気付かせてくださいますようよろしくお願いいたします。(※上の記事は許可をいただいています。)

コラム：講師なのに、勉強させていただいた(免許状更新講習)

夏休み中の7月と8月に2回ずつ教員免許状更新講習の講師をさせていただきました。

幼児・児童・生徒を教えている幼稚園・小学校・中学校・高等学校の先生たちが、よりよい教育を行うために一生懸命勉強している姿を見ていて頼もしく思いました。

また、一人一人の先生が違った素敵な力をもっており、その豊かな発想に触れ、講師を務めている私も大いに勉強になりました。「教育」は「共育」と改めて感じました。

校長室だよりと私の好きな詩を紹介したところ、受講者の先生から、自分が中学生の時に好きだった小野茂樹さんの素敵な詩を教えていただきましたので紹介します。

「あの夏の 数かぎりなき そしてまた、たった一つの表情をせよ」